

安全データシート

モネンシンナトリウム

1. 製品及び会社情報

化学物質の名称 : モネンシンナトリウム
会社名 : 日本農産工業株式会社
住所 : 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1
ランドマークタワー46F
担当部署 : 品質保証部
電話番号 : 045-224-3753
FAX 番号 : 045-224-3754
緊急時の電話番号 : 同上
用途 : 飼料または飼料添加物
使用上の注意 : なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 急性毒性（経口） 区分 3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
皮膚感作性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）（心臓・骨格筋） 区分 1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（血液系、心臓、骨格筋） 区分 1
水生環境有害性 短期（急性） 区分 3
水生環境有害性 長期（慢性） 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷

臓器の障害（心臓、骨格筋）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（血液系、心臓、骨格筋）

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

保護手袋を着用すること。保護眼鏡又は保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

粉じん又はミストを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察又は手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

【その他の危険有害性】

内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：モノニンナトリウム

CAS 登録番号：22373-78-0

官報公示整理番号：8-(4)-1422

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS 登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2- {(2S, 2' R, 3' S, 5R, 5' R)-2-エチル-5'-[(2S, 3 S, 5R, 6R) -6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3, 5-ジメチルオキサン-2-イル]-3'-メチル-2, 2'-ビオキソラン-5-イル} -9-ヒドロキシ-2, 8-ジメチル-1, 6-ジオキサスピロ[4. 5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート (モネンシンナトリウム)	≤21	22373-78-0	-	8-(4)-1422
流動パラフィン	≥1 ≤3	8042-47-5	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

: 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。

皮膚に付着した場合

: 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹸で洗うこと。染された衣服および靴衣服や靴は替え、再使用前によく洗浄すること。刺激性が認められた場合、医師の手当てを受ける。を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければ

ばならない。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : 吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。規制の又は勧告されている暴露限界濃度を超える空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となることがある。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷

飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害。飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる :
気道刺激性
咳
喘鳴および呼吸困難

	喘息
皮膚に付着した場合	:有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 充血 水ぶくれになることがある
眼に入った場合	:有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み 流涙 充血
飲み込んだ場合	:有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛
応急処置をする者の保護	:人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	:症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	: 粉末化学消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	: 粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性がある高圧媒体を避けること。
特有の危険有害性	: 分散すると、粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性がある。本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
特有の消火方法	: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければな

らない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について：人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。粉塵を吸入しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について：流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項：漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量に流出した場合：漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。粉塵の発生を避けること。乾燥状態で掃かないこと。粉塵を HEPA フィルター付きの器具で吸い取り、ラベルが貼られた密栓付きの廃棄物用容器に入れること。漏洩物は指定された、ラベルの貼られた廃棄物用容器に入れること。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

大量に流出した場合：漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。粉塵の発生を避けること。乾燥状態で掃かないこと。粉塵を HEPA フィルター付きの器具で吸い取り、ラベルが貼られた密栓付きの廃棄物用容器に入れること。粉塵状態になるのを避け、風による散乱を防止する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急時連絡情報について

ては第 1 章を、廃棄処理についてはセクション 13 を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の措置

取扱い

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること（セクション 8 を参照）。皮膚感作障害あるいは喘息、アレルギー、慢性または頻発呼吸器疾患の病歴を持つ者を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。粉塵を吸入しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて（火花または火炎）を避ける。粉塵の貯留を防止する。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。電気機器および照明器具は、熱せられた表面、火花、その他の引火源に粉塵が接触しないよう、適切な基準に合わせて防護されていなければならない。静電気防止対策を講じる。火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション

8

の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション 10 を参照）および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセ

クション 10 を参照のこと。

8. ばく露防止措置

設備対策

: 換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。防爆型換気装置を使用する。

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
流動パラフィン	日本産業衛生学会（日本、9/2021）。[鉱油ミスト] OEL-M: 3 mg/m ³ 8 時間。形: ミスト

生物学的暴露指数

認知済みのものは無し。

保護具

呼吸用保護具

: 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド。吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な

場合もある。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態 : 固体 [顆粒状固体。]

色 : 茶色。

臭い : カビ臭

pH : 情報なし。

融点/凝固点 : 情報なし。

軟化点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

引火点 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界 / : 該当しない

可燃限界

蒸気圧 : 情報なし。

相対ガス密度 : 該当しない

相対密度 : 情報なし。

溶解度	:		
		メディア	結果
		冷水	不溶
		温水	不溶

n-オクタノール/水分 :

該当しない

配係数

自然発火点 : 262°C (503.6°F)

分解温度 : 情報なし。

粘度 : 該当しない

粒子特性

中央粒径値 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて（火花または火炎）を避ける。静電気防止対策を講じる。火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。粉塵の貯留を防止する。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性： 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品/成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2-((2S, 2'R, 3'S, 5R, 5'R)-2-エチル-5'-[(2S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3,5-ジメチルオキサ2-イル]-3'-メチル-2,2'-ビオキサラン-5-イル)-9-ヒドロキシ2,8-ジメチル-1,6-ジオキサスピロ[4.5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート	LD50 経口	ラット	238～318 mg/kg monensin sodium data	-
流動パラフィン	LD50 経口	ラット	>5000 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん / ミスト) (mg/l)
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2-((2S, 2'R, 3'S, 5R, 5'R)-2-エチル-5'-[(2	238～318	550～700	N/A	N/A	N/A

S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3, 5-ジメチルオキサソラン-2-イル]-3'-メチル-2, 2'-ビオキサソラン-5-イル} -9-ヒドロキシ-2, 8-ジメチル 1, 6-ジオキサスピロ[4. 5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート					
---	--	--	--	--	--

刺激性/腐食性

製品/成分の名称	結果	種類	種類	ばく露	観察
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2-{(2S, 2'R, 3'S, 5R, 5'R)-2-エチル-5'-[(2S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3, 5-ジメチルオキサソラン-2-イル]-3'-メチル-2, 2'-ビオキサソラン-5-イル}-9-ヒドロキシ-2, 8-ジメチル-1, 6-ジオキサスピロ[4. 5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	50 mg	-
		ウサギ	-	monensin sodium data	-
		ウサギ	-	24 時間 100 mg	-

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

製品/成分の名称	妊娠毒性	妊性	発生毒性	種類	投与量	ばく露時間
流動パラフィン	-	陰性	-	ラット	経口： >43 50mg/kg NO AEL	-

特定標的臓器毒性、単回ばく露

製品 / 成分の名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2- {(2S, 2' R, 3' S, 5R, 5' R)-2-エチル-5'-[(2S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3, 5-ジメチルオキサソラン-2-イル]-3'-メチル-2, 2'-ビオキサソラン-5-イル} -9-ヒドロキシ-2, 8-ジメチル-1, 6-ジオキサスピロ [4. 5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート	区分 1	-	心臓、骨格筋

特定標的臓器毒性、反復ばく露

製品 / 成分の名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2- {(2S, 2' R, 3' S, 5R, 5' R)-2-エチル-5'-[(2S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3, 5-ジメチルオキサソラン-2-イル]-3'-メチル-2, 2'-ビオキサソラン-5-イル} -9-ヒドロキシ-2, 8-ジメチル-1, 6-ジオキサスピロ [4. 5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート	区分 1	-	血液系、心臓、骨格筋

誤えん有害性

製品 / 成分の名称	結果
流動パラフィン	誤えん有害性 - 区分 1

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
------------	----	----	-------

ナトリウム (2S, 3R, 4S)-4-((2S, 5R, 7S, 8R, 9S)-2-((2S, 2'R, 3'S, 5R, 5'R)-2-エチル-5'-[(2S, 3S, 5R, 6R)-6-ヒドロキシ-6-(ヒドロキシメチル)-3,5-ジメチルオキサソ-2-イル]-3'-メチル-2,2'-ビオキサラン-5-イル)-9-ヒドロキシ-2,8-ジメチル-1,6-ジオキサスピロ[4.5]デカン-7-イル)-3-メトキシ-2-メチルペンタノアート 流動パラフィン	NOEC 0.32 mg/l 急性 EC504.33mg/l 急性 EC507.29mg/l 急性 LC501.88mg/l 急性 LC50>100mg/l 急性 LC50>100mg/l	藻類 藻類 ミジンコ類 魚類 ミジンコ類- <i>Daphnia magna</i> 魚類 - <i>Oncorhynchus mykiss</i>	72 時間 72 時間 48 時間 96 時間 48 時間 96 時間
---	---	---	--

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogPow	BCF	可能性
流動パラフィン	>6	-	高

土壌中の移動性

: 情報なし。

オゾン層への有害性

: 該当しない

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。

らない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
UN 番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－
容器等級	－	－	－
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。

使用者のための特別な注意事項： 知見なし。

IMO 機器によるばら積み運搬： 情報なし。

15. 適用法令

消防法：危険物第四類第四石油類を含むが、除外規定（含量 40%以下）に当たるため、該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	政令番号
流動パラフィン	≤3	該当	581
モネンシンナトリウム	≤21	該当	2200

労働安全衛生法施行令 別表： 非該当

第一 危険物

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	類別番号
モネンシン、その塩類及びこれらのいずれかを含有する製剤	≥20-≤30	劇物	2-1-100-19

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR） - 2023 年 3 月まで

非該当

化学物質排出把握管理促進法 - 2023 年 4 月から

非該当

16. その他の情報

履歴

略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値
 BCF = 生物濃縮係数
 GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
 IATA = 国際航空輸送協会
 IBC = 中型運搬容器
 IMDG = 国際海上危険物
 LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
 MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973 年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する 1978 年の議定書。
 (“Marpol” = 海洋汚染)
 N/A = データなし
 SGG = 隔離グループ
 UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
急性毒性(経口)-区分 3	専門家の判断
眼に対する重篤な損傷-区分 1	専門家の判断
皮膚感作性-区分 1	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露)(心臓、骨格筋)-区分 1	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露)(血液系、心臓、骨格筋)-区分 1	算出方法
水生環境有害性 短期(急性)-区分 3	算出方法
水生環境有害性 長期(慢性)-区分 3	算出方法

引用文献 : エランコジャパン株式会社 安全データシート
ルメンシン 200 (モネンシンナトリウム)
改定日 2025年4月1日

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2026年8月1日	